

V 浜松市内企業就職者及びUIJターン就職経験者の意識・実態調査

1. 実態調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、UIJターン就職の促進による若者の転入増加と、地元企業を担う人材及び労働力を確保するための基礎的データを、浜松市内企業へ就職した者より収集し、今後の事業施策に活用することを目的に実施した。

(2) 調査対象

浜松市内の企業で、非農林漁業(S公務を除く)の産業分類の企業に勤務する者。ならびに、浜松市内に本社を置く浜松市外の支店、営業所に勤務する者、200人を抽出。

(3) 調査方法

平成28年3月11日～3月17日、インターネットリサーチ会社のWebモニターを利用したWEBアンケート調査を実施。

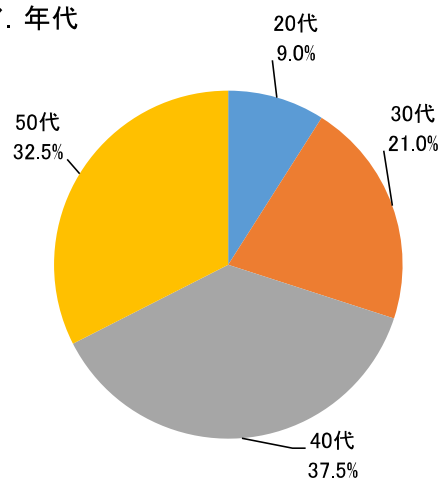
(4) 回収状況

全体200人、男性100人、女性100人。

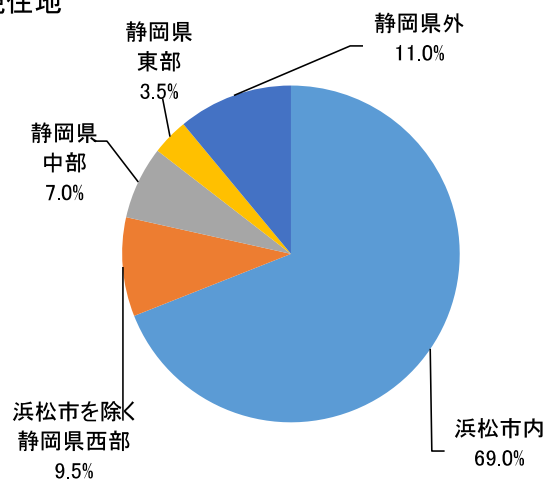
(5) 属性

調査対象者の属性は以下の通りである。

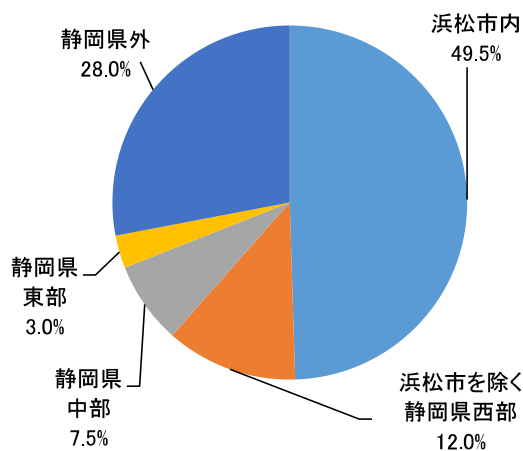
ア. 年代



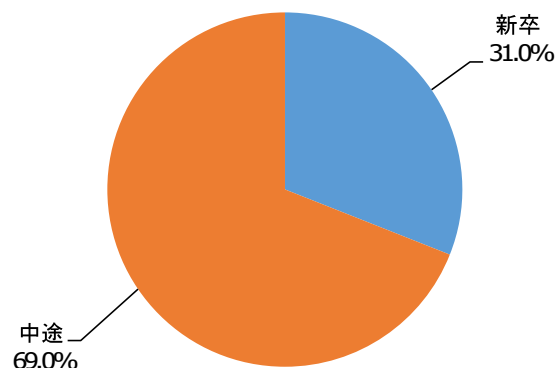
イ. 現住地



ウ. 出身地域



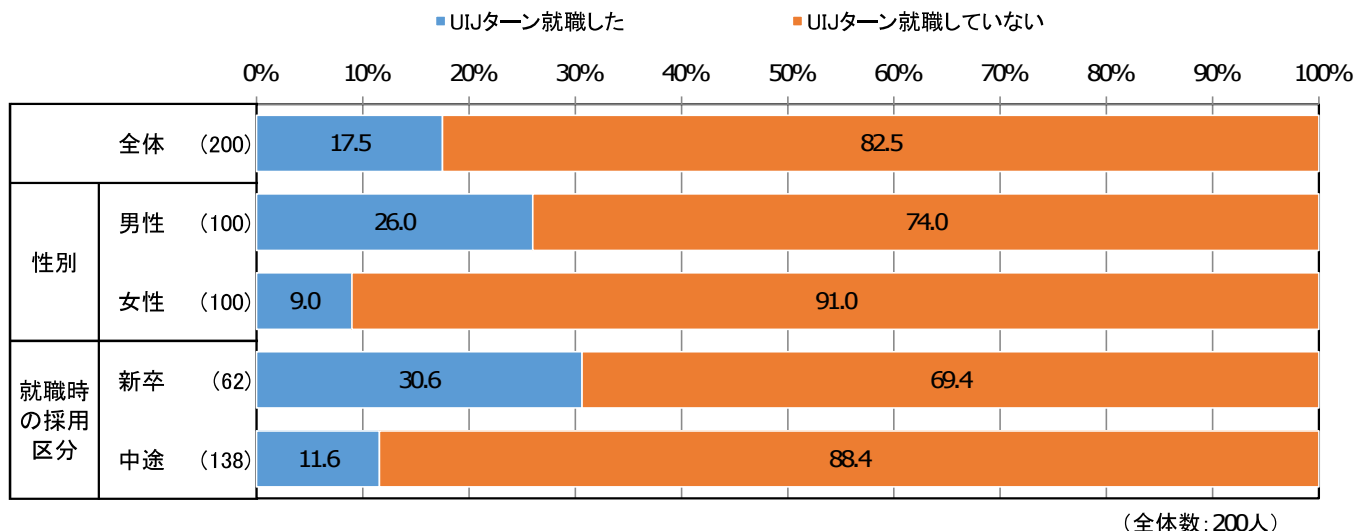
エ. 採用区分



2.実態調査結果

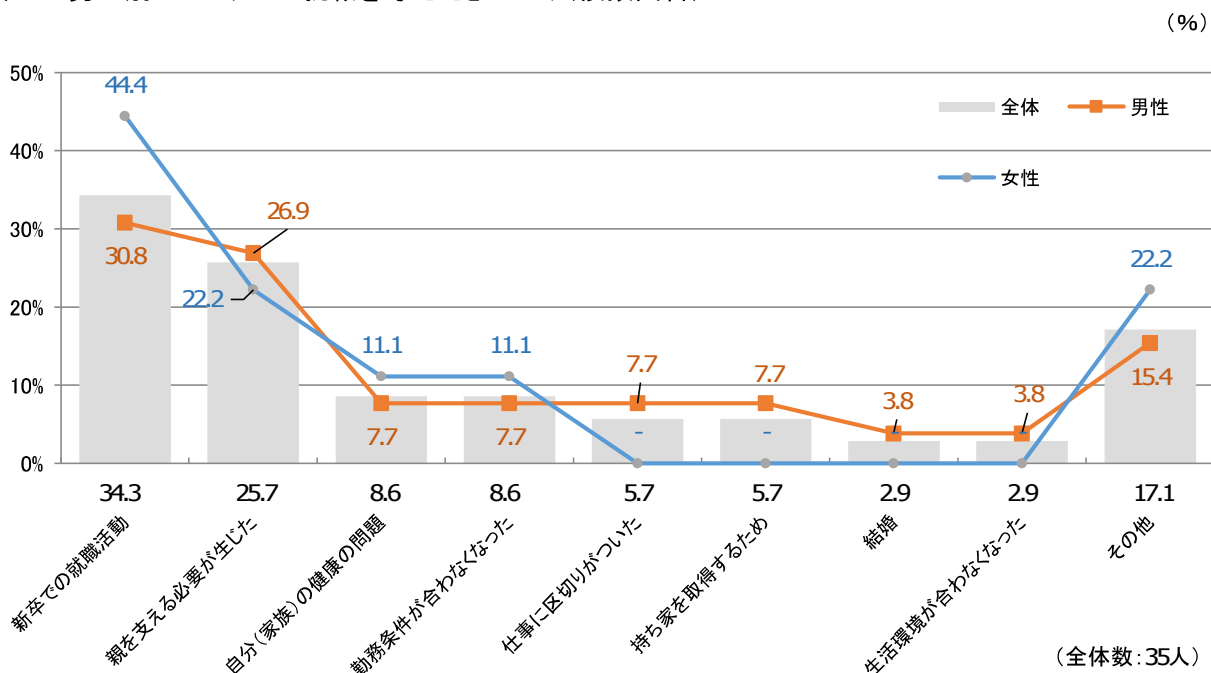
- 現在の就職先のUIJターン就職割合は17.5%である。男女別にみると、「男性」(26.0%)、「女性」(9.0%)と男性の方が高い。就職時の採用区分でみると、「新卒」(30.6%)、「中途」(11.6%)と新卒の方が高い。

図表31 男女別、採用区分別のUIJターン就職の有無



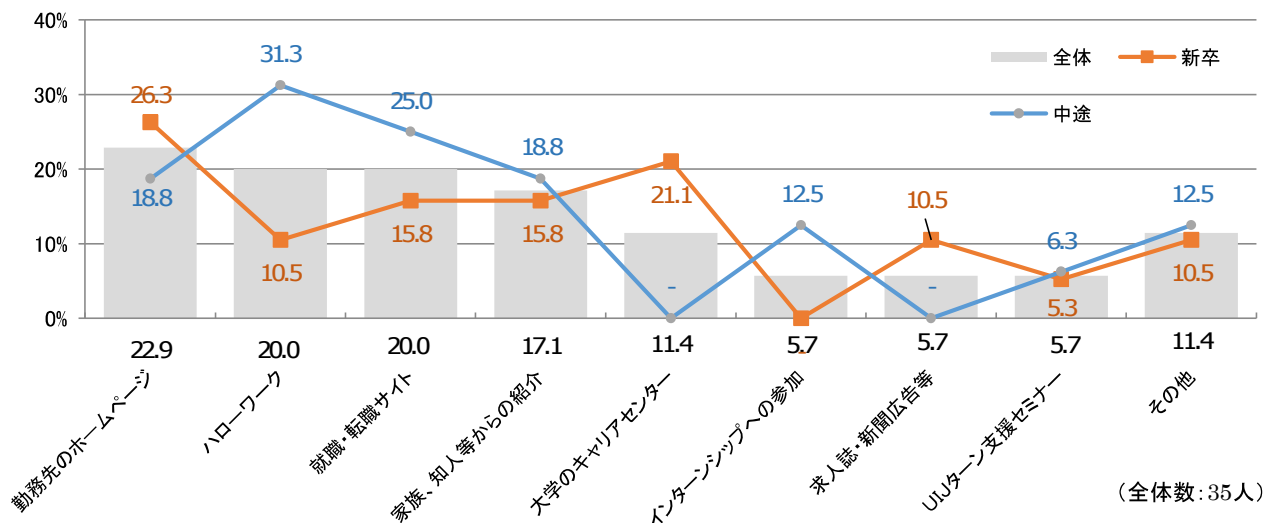
- UIJターンを考えたきっかけについて割合が最も高いのは、「新卒での就職活動」(34.3%)。次いで「親を支える必要が生じた」(25.7%)、「自分または家族の健康の問題」(8.6%)、「勤務の内容・条件が合わなくなった(勤務時間・給与・通勤等)」(8.6%)と続く。

図表32 男女別のUIJターン就職を考えたきっかけ(複数回答)



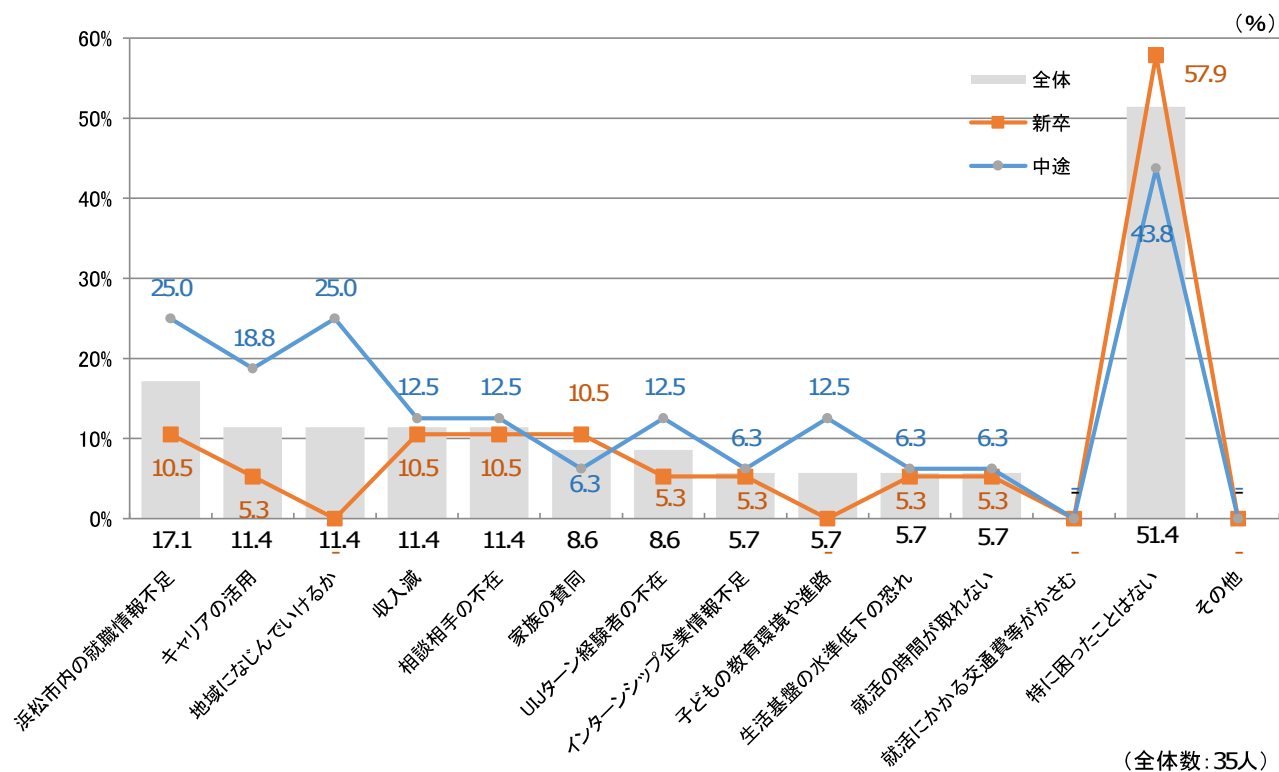
●UIJターン就職時の情報認知経路は、「勤務先のホームページ」(22.9%)が最も高く、次いで「ハローワーク」(20.0%)、「就職・転職サイト」(20.0%)、家族・知人等からの紹介」(17.1%)となる。また、「中途」は「ハローワーク」(31.3%)が最も高くなっている。

図表33 採用区分別のUIJターン就職時の認知経路(複数回答) (%)



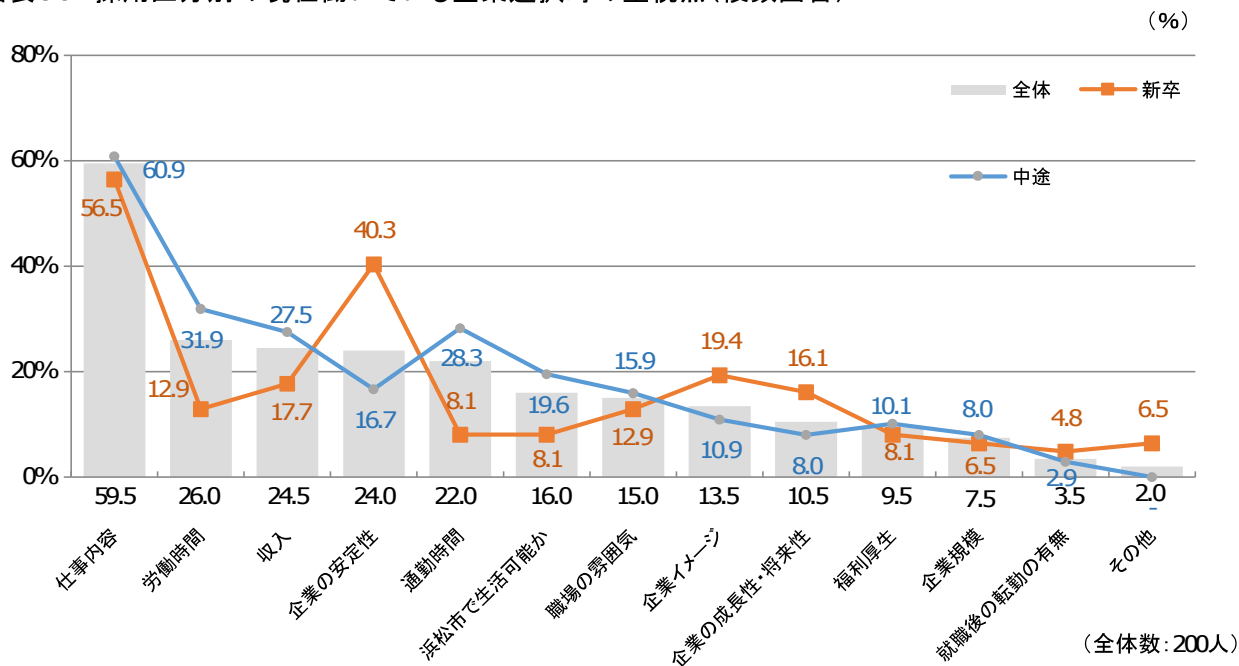
●UIJターン就職時の困った点については、「特に困ったことはない」(51.4%)と半数以上は問題を抱えていない。困った点で最も高かったのは、「浜松市内の就職情報不足」(17.1%)となる。また、「地域になじんでいけるか」の項目が、「中途」では25.0%と最も高いが、「新卒」では0.0%となっている。

図表34 採用区分別のUIJターン就職時の困った点(複数回答)



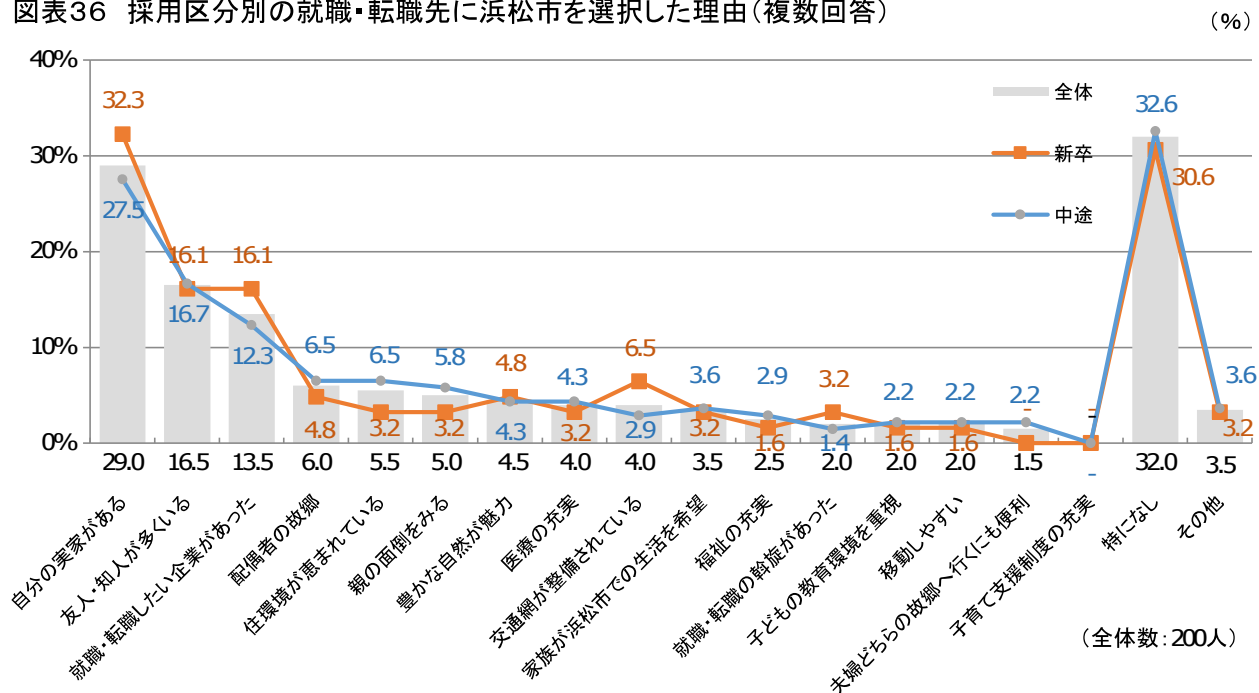
- 現在働いている企業選択時の重視点について割合が最も高いのは、「仕事内容(職種、業種)」(59.5%)である。次いで「労働時間」(26.0%)、「収入」(24.5%)、「企業の安定性」(24.0%)と続く。また、「新卒」は「企業の安定性」(40.3%)を重視する傾向が高く出ている。

図表35 採用区分別の現在働いている企業選択時の重視点(複数回答)



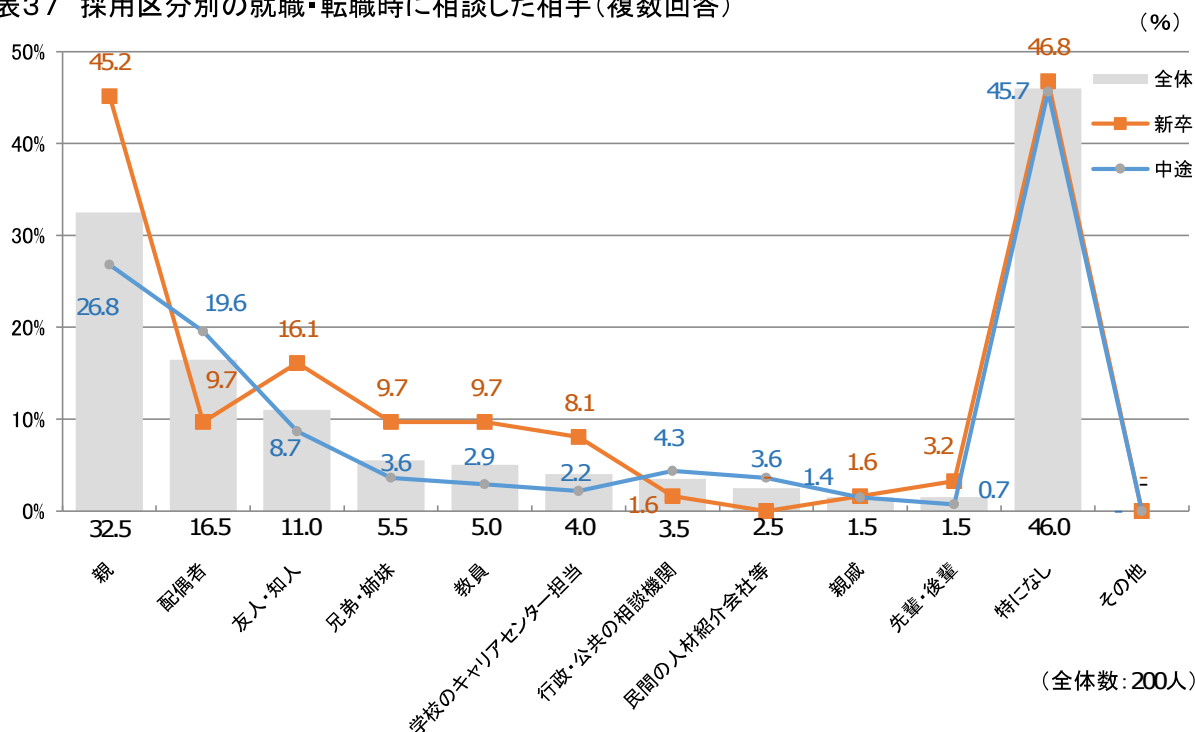
- 就職・転職先に浜松市を選択した理由について割合が最も高いのは、「特になし」(32.0%)である。次いで「自分の実家がある」(29.0%)、「友人・知人が多くいる」(16.5%)、「就職・転職したい企業があった」(13.5%)と続く。

図表36 採用区分別の就職・転職先に浜松市を選択した理由(複数回答)



- 就職・転職時に相談した相手としては、「親」(32.5%)、「配偶者」(16.5%)、「友人・知人」(11.0%)と続く。ただし、「特になし」(46.0%)の割合が最も高く、半数近くの人が誰にも相談していない。一方、「新卒」は「親」(45.2%)の割合が特に高くなっている。

図表37 採用区分別の就職・転職時に相談した相手(複数回答)



- 浜松市への定住促進の方策について、最も割合の高い項目は、「交通網の整備」(39.5%)となる。次いで「子育て環境の充実」(37.0%)、「企業誘致等による働く場の増加」(35.0%)、「福祉環境の充実」(25.0%)と続く。

図表38 男女別の浜松市定住促進への重視点(複数回答)

